学校番号	３０５

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合（芸能文化科）	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「国語総合」（東京書籍）						
副教材等	「高等学校国語の学習漢字とことば」（教育研究会） 「トータルサポート新国語便覧」（大修館書店） 「改訂版　現代語練習帳　ことのは」（いいずな書店） 「新版二訂みるみる実力アップ現代文１」（第一学習社） 「三訂版わかる・読める・解ける　古文単語 330」（いいずな書店） 「新精選古典文法改訂版」「準拠ノート」（東京書籍） 「プログレス古典総演習基本編」（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１（現代文）普段から関心や疑問を持って読書活動をすること。授業中は、学習活動に集中し、ペアワークやグループワークに積極的に参加し、提示された内容について深く考え、自分の言葉で説明する努力をする。
（古典）古典文法、古語、古典常識を理解し、文章読解を進めるために、日々の予習、復習を着実に積み重ねること。また、授業に集中し、課題にも積極的に取り組むこと。
２ 休業中の課題や、小テスト・提出課題は、計画的・継続的に取り組み、必ず復習する。
３ 課題テスト・定期考査・模試は返却後よく点検し、間違えた問題は、再点検しておくこと。
４ 詳細は、各担当者の指示に従うこと。

２　学習の到達目標

国語を適切に表現し、的確に理解する能力を養成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現により文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート、ワークシート等）	・行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	・記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	・記述の確認及び分析 （ワークシート） ・定期考査	・行動の観察 ・記述の確認 （ノート、ワークシート） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

〈現代文〉

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間考査まで	評論	『技術が道徳を代行する時』	○			◎	○	a:筆者のいう道徳と技術との関連についての、現代社会のあり方に関心を持つ。 d:述べられた事例から、筆者の考えを理解している。 e: 主な常用漢字の音訓の正しい使い方を身につけている。	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、漢字テスト
	小説	『羅生門』	○	○	◎	○	○	a: 小説の世界に疑問や関心を持つ。 b:主題について、自分なりに根拠を示して発表する。 c:登場人物の行動について心理を読み取り表現する。 d:場面や心情の変化を表現に即して読み味わう。 e：「羅生門」について基本的な情報を得る。	観察(発言。発表)、ノート、ワークシート、感想文、レポート、漢字テスト
7月考査まで	評論	『水の東西』	○			◎	○	a:新しい分野への関心を持つ d:日本人と西洋人の水に対する好みの違いをもとに、日本人の感性の特質を読み取る。 e: 二項対立による論の進め方や、表現の工夫に気がつく。	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、漢字テスト
前期期末考査まで	評論	『＜顔＞という現象』	○			◎	○	a:自己にとって身近な存在である「顔」についての多様な見方があることを知る。 d:問題提起とそれへの回答という形で進められる論理の展開を把握し、筆者の主張を正確に読み取る。 e：読むことに必要な文章の組み立てを把握する力を身につけている。	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、漢字テスト

	随想	『蝉と日本人』	○			◎	○	a:蝉の鳴き声から日本語の擬音語に触れ、また、蝉のひと夏の短い生について思いをはせる筆者の感受性に触れる。 d: 日本語の擬音語の機能について知り、言語感覚を磨く。 e：読むことに必要な概念を理解し、使いこなせている。	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、レポート、漢字テスト
後期中間考査まで	小説	『鏡』	○	○	◎	○	○	a:一人称の「僕」の語る、恐怖の体験談について、語りと出来事との関連に関心を持つ。 b:主題について根拠を示して発表し、また、相互に話し合う。 c:登場人物の行動に即して心理の展開を読み取り表現する。 d:語る現在と語られる過去との関連を理解し、過去の体験が現在の「僕」にどう反映しているかを考察する。 e：語りの場の構造を把握し、語り言葉の機能と効果を把握する。	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、感想文、漢字テスト
	評論	『広告の形而上学』	○		◎	○	○	a:現代の広告のあり方に興味を持ち、「広告」に対する筆者の関心の意図を理解する。 c:個々の段落の働きや段落相互の関係を読み取り、表現できる。 d:文章の内容を叙述に即して読み取り、筆者の主張を正しく理解する。 e：読むことに必要な文章の組み立てを把握する力を身につけている。	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、レポート、漢字テスト
	詩歌	『小景異情』 『自分の感受性ぐらい』 『十五の心―短歌抄』 『白牡丹―俳句抄』	○	○	○	◎	○	a:詩歌に親しむ。 b:音読、朗読をする。 c:自分で詩歌を作る。 d:作品にうたわれている情景や心情を表現に即して読み味わう。 e：ことばと表現について知識を深める。	観察(発言・発表)、ノート、ワークシート、音読、朗読、作品、漢字テスト

後期期末考査まで	評論	『＜私＞時代のデモクラシー』	○			◎	○	a:現代における「デモクラシー」のあり方に関心を持つ。 d: 引用事例および筆者の論理展開に着目し、筆者の主張を過不足なく読み取る。 e：読むことに必要な文章の組み立てを把握する方法を身につけている。	観察（発言・発表）、ノート、ワークシート、レポート、漢字テスト
	小説	『富嶽百景』	○		○	◎	○	a: 小説の世界に疑問や関心を持つ。 c: 登場人物の行動について心理を読み取り、感想文を書く。 d:「私」の富士山への印象、「私」の周囲の人々はどのように描かれ、本文にどのような影響を与えているか読み取る。 e：ことばと表現について知識を深める。	観察（発言・発表）、ノート、ワークシート、漢字テスト、感想文

〈古典〉

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期中間考査まで	説話（古文入門）	教材:「古文入門」 検非違使忠明『今昔物語集』 「絵仏師良秀」『宇治拾遺物語』 文法等:歴史的仮名遣い、五十音図、係り結びなど	○			◎	◎	a:古文に親しみを持ち、話の面白さを理解する。 d:古語の意味を確認しながら、場面状況や登場人物の心情を読み味わう。 e：歴史的仮名遣い、文語と口語の違い、古典文法の基礎について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	随筆	教材:『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」 文法等:用言	○			◎	◎	a:内容を踏まえて作者のものの見方を理解し、より古文に慣れ親しむ。 d:文章の展開に即して作者の考え方や感じ方を読み取る。 e:用言の活用について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査

7月考査まで	物語	教材:『竹取物語』 「天の羽衣」 文法:用言	○			◎	◎	a:昔話としてなじみのある作品を読み、古文に親しむ。 d:話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。また、文章中の和歌の役割について理解する。 e:用言について更に深く理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査
	漢文入門	教材:「漢文入門」 「訓読の基本」 「格言」	○			○	◎	a: 漢文を日本語として読む工夫とその意義を理解しようとする。 d:現在も生きている格言、成句や故事の意味を理解する。 e：漢文訓読に必要なきまりを理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査
前期期末考査まで	故事成語	教材:「推敲」	○			◎	◎	a: 日本においてもなじみのある故事成語について深く学ぶ。 d: 平易な漢文を繰り返し音読し、内容を理解する。 e：訓読のきまりや句法について知識を深める。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査
	物語	教材:『伊勢物語』 「東下り」 文法:用言、助動詞、助詞	○			◎	◎	a: ：登場人物の心理を読み取り、和歌を通して歌物語の特徴を理解しようとする。 d:登場人物の状況をつかみ、作中の歌を物語の文脈に沿って解釈する。 e:助動詞、助詞について理解しする。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査
後期中間考査まで	日記	教材:『土佐日記』 「馬のはなむけ」 文法:用言、助動詞、助詞	○			◎	◎	ａ:表現や当時の風習などを踏まえつつ、作者の心情を理解しようとする。 d:文章の展開や表現技巧についての作者の工夫をつかむ。 e:作品の文学的意義を理解する。また、助動詞、助詞について理解し、口語訳に生かす。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査

	漢詩	教材:『唐詩』 絶句「春曉」 律詩「春望」	○			◎	◎	a:日本でも愛好されてきた漢詩の名作を関心を持って味わおうとする。 d:詩に表現された内容・心情を読み取り、また、そこに見られる人間観、自然観についても理解する。 ｅ：絶句、律詩の基本的な決まりについて理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査
後期期末考査まで	軍記	教材:『平家物語』 「木曾の最期」 文法：助動詞、助詞、敬語、音便	○			◎	◎	a:朗読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとする。。 d: 源平の戦いの歴史的な流れを理解し、生と死をめぐる人間のあり方について考えを深める。 e:軍記物語に特徴的な音便表現や敬語について理解する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査
	漢文	教材:『十八史略』 「鶏口牛後」 教材:『論語』 「学問を語る」	○			◎	◎	a:比較的長い漢文の名文を読み味わおうとする。 d:巧みな比喩による論理的な展開に注目しつつ、主張を理解する。 e:句法、語法を理解した上で、作者の主張とその思想史上の位置について基本事項を把握する。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:テスト及び定期考査

※　表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　ｅ：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。